

薬剤によるリンパ球幼若化試験 (LST) 採血容器・提出量


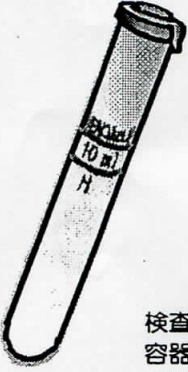
リンパ球保存液を使用する場合

リンパ球分離用血液として「保存液加血液」および培養液添加用血漿として「ヘパリン加血液」をご提出ください。

1 薬剤追加ごとに「保存液加血液」6ml および「ヘパリン加血液」2ml をそれぞれ追加してご提出ください。薬剤数ごとに必要な提出量・容器本数は、下記表をご参照ください。

検体と同時に 1 回投与量の薬剤をご提出ください。

薬剤が粉末のものは粉末を、油性薬剤でも粉末がある場合は粉末を、座薬、シロップ剤で粉末またはカプセルのあるものは粉末またはカプセルをご提出ください。

容 器	リンパ球分離用血液		培養液添加用血漿		
		検査案内 容器一覧 容器番号 [21] リンパ球保存容器-7.5ml			検査案内 容器一覧 容器番号 [10] ヘパリン容器-5ml または 10ml
薬 剤 数	保 存 液 加 血 液	保 存 容 器 本 数 [7.5ml]	ヘ パ リ ン 加 血 液	容 器 本 数	
				[4ml]使用時	[9ml]使用時
1	15ml	2本	2ml	1本	1本
2	21ml	3本	4ml	1本	1本
3	27ml	4本	6ml	2本	1本
4	33ml	5本	8ml	2本	1本
5	39ml	6本	10ml	3本	2本
6	45ml	6本	12ml	3本	2本

※ 月曜日から金曜日までの受付となります。

※ 白血球数が 3,000/ μ 以下の場合は、倍量採血し、ご提出ください。

表中の血液量でも検査に必要なリンパ球数が得られず検査不能となる場合があります。

※ 2 薬剤以上のご依頼の場合は、必ず優先順位をご指示ください。

ご指示のない場合は、依頼書上にご記入いただいた順に従って検査させていただきます。

※ ご提出前には必ず弊社検査案内「細胞性免疫検査のご依頼について」をご覧ください。